

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月 13日

アンケート期間:平成 31年 1月 15日～平成 31年 2月 15日

事業所名:子ども支援室 えがお

保護者等数(児童数) 10人 回収数 10人 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	3				・利用の子どもたちにとって安心できる空間の提供として机のあるスペースと何も無い空間を作っている。活動によっては机を移動片付けるなどスペースをつくることはしているが限られたスペースを上手く使っていこうと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10					基本は1対1職員を配置しているが逆に手厚いことがお子様の発達の妨げにならないようにはしていきたい。研修参加などで職員自ら自己向上に努めている。今後も積極的に研修等に参加を促し共有していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3		3	・階段の手すりは知っているがトイレについては未確認 活動の場所が2階だと思つので、階段が利用できない方だと難しいのかもしれない。	2階が活動場所になっているのでバリアフリーではない。身体に障害がある方には申し訳ない。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	9		1		・以前は話したりすることがあったと思うが2年生になってから明確な相談していない気がします。	立案しフィードバック、振り返りを心がけていきます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	10				・家ではできない活動や体験などがあり子供も楽しんでます。	環境の良さを強みに活動、地域交流を心がけていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	1	3	・児童館へ行くことを楽しんでいる。そこで他の子どもと活動しているのかはわからない	行政の管轄の事業との交流はできていない進めるためには行政の許可が必要になる。児童館等での交流も理解という面での難しさがある。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					見学时契約時に説明をしている。加算等の変化がある時は知らせる。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				・通いの手帳のほか、送迎時に話ができるというのと教えてもらえるのでありがたいです。 ・お迎え時など先生とお話できる時間があり、様子を教えてもらえる。	利用時の送迎時に伝えたりはしているがしっかりと伝えるための時間が取れるように工夫していく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9		1		・改めての面談らしきものは最近はやっていないです。 ・多くの支援をいただきとても感謝をしています。	困り感、不安、心配の強い相談等は懇談を随時行っているが、相談日を設け相談しやすくできるシステムを考えていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		4	4	・長期休みで保護者参加などあってもいいかなとは思つ。	父母の会等組織はない。クラスごとやテーマ別で懇談会を計画している。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			5	・苦情がないのでわからない。 ・苦情があったかわからないので、判断できない。 ・苦情と思うことはないです。その日の変更事項などの連絡などきちんとくださり助かっています。	現時点では苦情は受けていない。今後も気を付けていく。苦情を受けたときは状況説明等を行っていきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10					
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2					フェイスブックで様子等を上げてはいるが定期的ではない。ネット配信を頼っているので見れない方などにもプリント配信を考えていく。 ホームページブログで登録者しか見られないものも考えていく。個人情報には気を付けていく。 放課後等で支援に時間をかけてほしいという意見も出ている。作成にかかる時間を考える。写真などは個人情報はもちろん、写真を撮ることに気を取られすぎないことも考えていく。

	14	個人情報に十分注意しているか	9			1		ネットに挙げる時など十分に写真等を確認。職員間での確認をしていく。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	1	1	1		今後保護者も参加型の訓練を計画していく。いろいろな想定をし、実践していく。アレルギー(エビペン持参の子)発作等の経験もする必要がある。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7		1	2		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1			・毎回楽しく通わせてもらっています。 ・とても楽しみにしています。	どちらともいえないという回答があるので、一人ひとりの声を拾い楽しく利用できるようにしていきたい。不登校気味でもあるお子様なので学校にまず通えるように連携をとっていく。
	18	事業所の支援に満足しているか	10					療育等支援の見える化を考えていきたい。お子様を真ん中に保護者関係機関と連携をとっていきます

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです